

## 第7章

# 環境保全啓発活動



## 第 7 章 環境保全・啓発活動

### 持続可能な社会を目指して

高度な経済成長と共に私たちのライフスタイルが変わり、便利さや物質の豊かさなど優先した結果から大量生産・大量消費・大量廃棄といった状況が生じています。これは地球温暖化や生物多様性といった地球的規模の問題に繋がります。

自分たちの生活を見直すことが、地球的規模の問題解決に役立ちます。自家用車の使用・冷暖房の温度設定・待機電力などに気をつける・・・日常生活のなかで出来ることを無理せず力まず行う・・・継続して行うことが大切です。持続可能な社会に向けて“持続は力なり”

本市では持続可能な社会の実現に向け、市民への環境保全活動・活動の啓発等を実施しました。

こどもエコクラブの支援や環境教室・かたの環境講座の開催などの啓発・学習事業を展開するとともに、環境フェスタなど市民との協働の取り組みを推進しました。また、19年度より運用している環境マネジメントシステム(環境自治体スタンダード:LAS-E)により市役所の事務事業からの環境負荷を低減するよう取り組みました。

### 1. 環境教育

環境にやさしいくらしを啓発するため、以下の事業を実施しました。

#### (1) こどもエコクラブの支援

財)日本環境協会が実施している「こどもエコクラブ事業」に基づき、市内のこどもエコクラブに対して、クラブ間の交流や活動の支援、情報の提供等を行いました。また、「エコロジカルとれーにんぐ」や各クラブが実施する「エコロジカルあくしょん」の報告を受け、その活動内容を確認しアースシールを発行しました。

登録クラブ 3クラブ(平成25年3月時点)

クラブ名	クラブ員数	サポーター数
ひまわりエコクラブ	18人	1人
たんぼぼエコクラブ	13人	8人
かたの少年少女クリーンパトロール隊	14人	8人

交野市こどもエコクラブ交流会「夏休み“おがわ”の生き物観察会」

全国水生生物調査を兼ねて、身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を図ることを目的としました。

実施日：平成24年7月31日(火)

場 所：くろんど園地 尺治川

参加者：10名(サポーター含む)

#### (2) 夏休み環境教室「さかながつなげるいのちの輪」

身近な魚を通じて、食・自然・いのちの大切さについて参加者の方に楽しく学習してもらうことを目的に、POP-UP工作やチリモン探しをしました。

実施日：平成24年8月6日(月)

場 所：交野市総合体育施設

参加者：26名

講 師：近畿大学農学部 朝井博士課程後期  
POU-UP アーティスト Takeda

### (3)かたの環境講座

温暖化を始めとする環境問題への対策には、市民一人一人の足元からの行動が必要ですが、その重要性を認識してもらうことが最も難しい課題でもあります。その課題にひとりでも多くの市民が気づき、行動して頂けるよう啓発し、また、環境保全活動のリーダーとなる人材を育成することを目的として、かたの環境講座を5回開催しました。大阪市立大学理学部附属植物園の協力のもと、フィールド学習もふんだんに盛り込んだ講座を実施しました。

#### 第1回 「セミの大変身」

日 時：平成24年7月21日(土)18:00から

講 師：龍谷大学 講師 谷垣 岳人氏

受講者数：72名

#### 第2回 「植物園でクールスポットを探そう」

日 時：平成24年8月25日(土)13:00から

講 師：大阪市立大学 講師 鍋島 美奈子氏

受講者数：25名

#### 第3回 「スパイダー・ウォッチング」

日 時：平成24年9月29日(土)10:00から

講 師：元追手門学院大学 教授 西川 喜朗氏

受講者数：22名

#### 第4回 「花のどこを食べている？」

日 時：平成24年10月27日(土)10:00から

講 師：大阪市立大学 講師 大久保 敦氏

受講者数：27名

#### 第5回 「秋の魔術師・紅葉の不思議」

日 時：平成24年11月23日(土)10:00から

講 師：大阪市立大学 准教授 名波 哲氏

受講者数：35名



## 2. 市民との協働の推進

### (1)かたの環境ネットワーク

自然環境・暮らしの環境について活躍をする個人や団体が集まり、官・民相互の交流と支援・連携を深め、交野の環境保全活動をより活性化することを目的に平成17年5月に13団体と1個人によって発足しました。毎月1回の定例会を中心に、団体間の情報交流や文化祭で環境保全をPRされています。

### (2)環境フェスタin交野2013の開催

テーマ「見直そう 環境・暮らし」として私たちの暮らしの中から様々な環境を考え、地球環境問題、身近なゴミ問題、里地・里山保全など自然環境問題等について、環境フェスタの開催により広く市民に啓蒙・啓発し、また団体間の交流をはかり、地域からの行動を喚起することを目的とし、市民・団体・事業者・行政が一体となり開催しました。

日 時：平成25年2月24日(日)

場 所：星の里いわふね

来場者数：約3,400名

### 3. 環境基本計画

平成 24 年 3 月に策定した「交野市環境基本計画」に基づき、計画の総合ビジョンである「市民一人ひとりが輝く『みんなのかたの』は美しく・やさしく・たのしい環境のまち」を目指して活動を行うことにより、持続可能な社会を構築することを目的とした「交野市環境基本計画推進会議（交野みどりネット）」を、平成 24 年 11 月に市民・事業者・行政の 3 者協働で設立しました。

#### (1) 交野市環境基本計画推進組織の設立

環境基本計画を推進するための組織を設立するため、4 月～11 月にかけて「交野市環境基本計画推進組織設立準備会」を 8 回、準備会を開催するための「幹事会」を 11 回開催し、会則や設立趣意書の案など組織を設立させるための準備を行いました。また、9 月からは、推進に参加してもらうため、市内事業所や各種団体を訪問し、呼びかけを行いました。

さらに、8 月 4、5 日には天の川星まつりに出展しました。「天の川星まつり 涼み処」をテーマに氷柱で来場者に涼を楽しんでもらい、市内のクールスポットの募集、基本計画の紹介と推進組織への参加の呼びかけを行いました。

#### (2) 設立総会

日 時：平成 24 年 11 月 25 日（日）

場 所：市役所別館 中会議室

内 容：第 1 部 交野市環境基本計画推進会議設立総会

第 2 部 交野市環境基本計画推進会議設立記念講演

「環境にやさしいまち“かたの”をめざして」

NPO 法人環境市民 代表理事 枚本 育生 氏

#### (3) 交野市環境基本計画推進会議（愛称：交野みどりネット）

交野みどりネットは、4 つの部会に分かれ、基本計画にあるプロジェクトを進めます。平成 24 年度は設立記念講座の実施、環境フェスタへの出展、来年度からのプロジェクトの本格始動に向けての運営方法について話し合いました。

設立記念講座では、計画にある 4 つの分野から 1 つずつ講座を行いました。

##### 第 1 回 「Let's エコ・クッキング」

日 時：平成 25 年 1 月 26 日（土）10:00 から

講 師：大阪ガス株式会社

受講者数：22 名

##### 第 2 回 「知って得する！太陽光発電」

日 時：平成 25 年 2 月 9 日（土）13:30 から

講 師：大阪ガス株式会社北東部リビング営業部 西村 幸 氏、太陽光エコクラブ交野

受講者数：43 名

##### 第 3 回 「自転車ライフで豊かで楽しい人生を」

日 時：平成 25 年 2 月 16 日（土）13:30 から

講 師：自転車博物館 事務局長兼シマノ・サイクル開発センター 長谷部 雅幸 氏

受講者数：23 名

##### 第 4 回 「人々が憩う豊かな自然がある交野」

日 時：平成 25 年 3 月 30 日（土）13:30 から

講 師：京都ノートルダム女子大学 教授 菅井 啓之 氏

受講者数：56名

#### 4. 環境マネジメントシステムの構築・運用

すべての職員が、環境の視点を持ちながら業務に当たることを目指し、環境自治体会議のシンクタンクである環境政策研究所が、環境自治体と呼ぶにふさわしい自治体の目安として制定した LAS-E(Local Authority's Standard in Environment：環境自治体スタンダード)に沿った環境マネジメントシステムを構築し、19年6月より運用を開始しました。

各職場における省エネ・省資源行動の徹底や、職員への研修(集合、職場研修)の実施、環境情報の市民への公表など LAS-E の規格に沿った取り組みを進めました。また、LAS-E の特徴の一つでもある市民による監査が実施され、判定委員会による取組の合否判定を受けました。

##### (1) 監査及び判定

###### 独自目標監査

実施日：平成24年6月1日

監査員 5名(市民2名、市職員2名、専門家1名)

###### 共通実施項目監査

実施日：平成24年11月27日・28日・29日

設問数 861問

対象部局 71部局

個別監査 市長他32名

監査員 39名(市民22名、市職員15名、専門家2名)

###### 判定

実施日：平成24年12月27日

LAS-E 実施項目判定(共通実施項目判定)

判定事務手続き・資料作成、判定委員会召集・開催、所見の発行等

結果：第1ステージ・第3ステップ 合格

##### (2) 目標達成状況

LAS-E では取組を実施するだけでなく、数値目標を立てることも要求されています。平成24年度の目標並びに結果は次のようになりました。

###### 平成24年度 独自目標取組結果一覧

項目	H24 結果	基準年値	削減率	目標	結果
電気使用量(kWh)	4,545,714	5,853,854(H21)	22.3%	1.5%削減	
ガソリン使用量( )	59,815	56,331(H21)	-6.2%	1.0%削減	×
軽油使用量( )	68,888	71,303(H21)	3.4%	2.5%削減	
灯油使用量( )	171,292	184,689(H21)	7.3%	2.0%削減	
LPG 使用量(kg)	19,981	31,068(H21)	35.7%	22.0%削減	
都市ガス使用量(m <sup>3</sup> )	246,498	241,472(H23)	-2.1%	1.0%削減	×
水使用量(m <sup>3</sup> )	103,369	119,442(H21)	13.5%	4.0%削減	
廃棄物の排出量(袋)	40,092	43,538(H23)	7.9%	削減	
コピー用紙 (購入量)(枚)	6,419,961	5,920,395(H23)	-8.4%	削減	×
CO <sub>2</sub> 換算温室効果ガス 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	2,584,114	2,652,611(H21)	2.6%	1.5%削減	

職員研修の回数	3回実施			年2回以上開催	
実行責任者研修の回数	7回実施			年2回以上開催	
環境に配慮した独自の取組み (モアチャレンジ)	172個/ 70部署			各職場1つ以上設定	
環境に関する情報の提供	年6回以上提供			年6回以上提供	

## 5. 他自治体などとの協力・交流

### 環境自治体会議

平成18年度から加入した環境自治体会議(1992年設立)は環境自治体会議をめざす自治体が、情報交換や相互交流、研究・実践活動を進める場として創られたネットワーク組織です。

第20回環境自治体会議「かつやま会議」に参加しました。

- |    |  |
|----|--|
| 日時 | 平成24年5月25日(金)~5月27日(日)   |
| 場所 | 福井県勝山市   |
| 内容 | 5月25日 基調講演「恐竜と地球環境」<br>パネルディスカッション<br>テーマ「持続的発展が可能なまちづくりとは」<br>パネリスト 全国の環境自治体会議会員自治体首長 |
|    | 5月26日 10のテーマごとに分科会を実施  |
|    | 5月27日 分科会報告  |